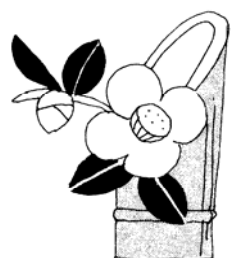


ほけんだより

平成25年 3月 1日

広島市立湯来東小学校

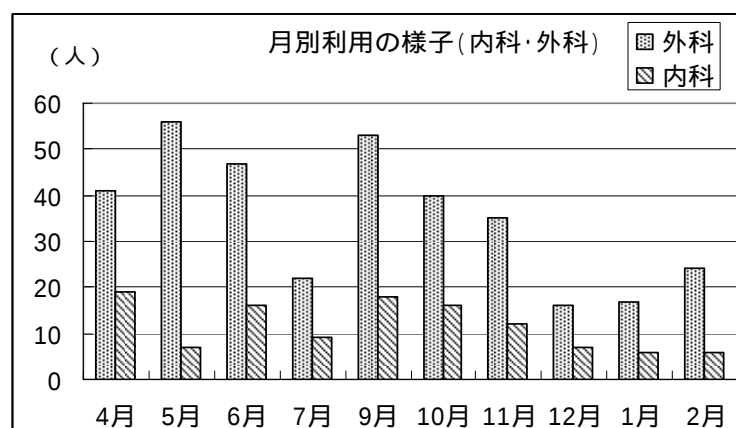
ほけんしつ



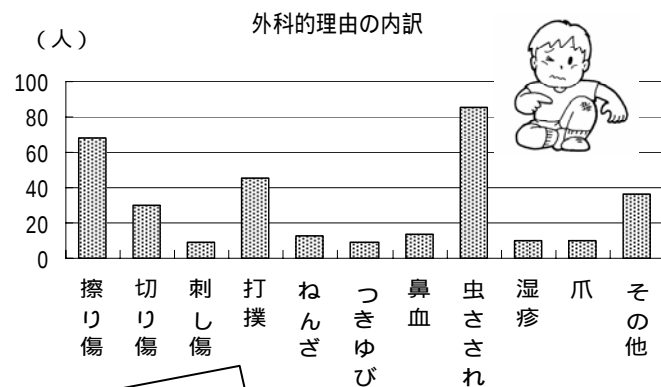
3月に入り、いよいよ今の学年も残すところ、1ヶ月となりました。3月5日(月)からの週では、今年度最後の体重測定を行います。結果は、健康手帳でお知らせします。ご覧になり、お子様の成長をご確認ください。なお、健康手帳は、1～5年生は、来年度も引き続き使用しますので、15日(金)までに提出してください。6年生は、小学校での成長記録として保管していただければと思います。

保健室・・・この1年

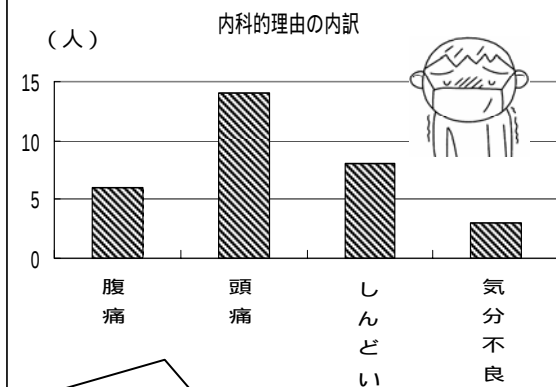
4月から2月末までの保健室利用の様子をお知らせします。人数は、延べ人数です。これからも、同じけがや、体調不良の繰り返しが少なくなるよう声かけをしていきます。また、保健室に来た児童のなかには、自分のようすを自分の言葉で話すことができたり、「ありがとうございました。」が自分から言えたりする児童が増えました。



・外科的理由では、5月や9月には、外でよく遊ぶようになり、すりきずや、虫にさされることが増えました。
・内科的理由では、年度の初めや季節の変わり目に体調をくずす児童が増えました。



虫さされの多くは、蚊や、ぶとによるものです。その他の理由の中には、つめが伸びていたため折れて痛い思いをした児童もいます。

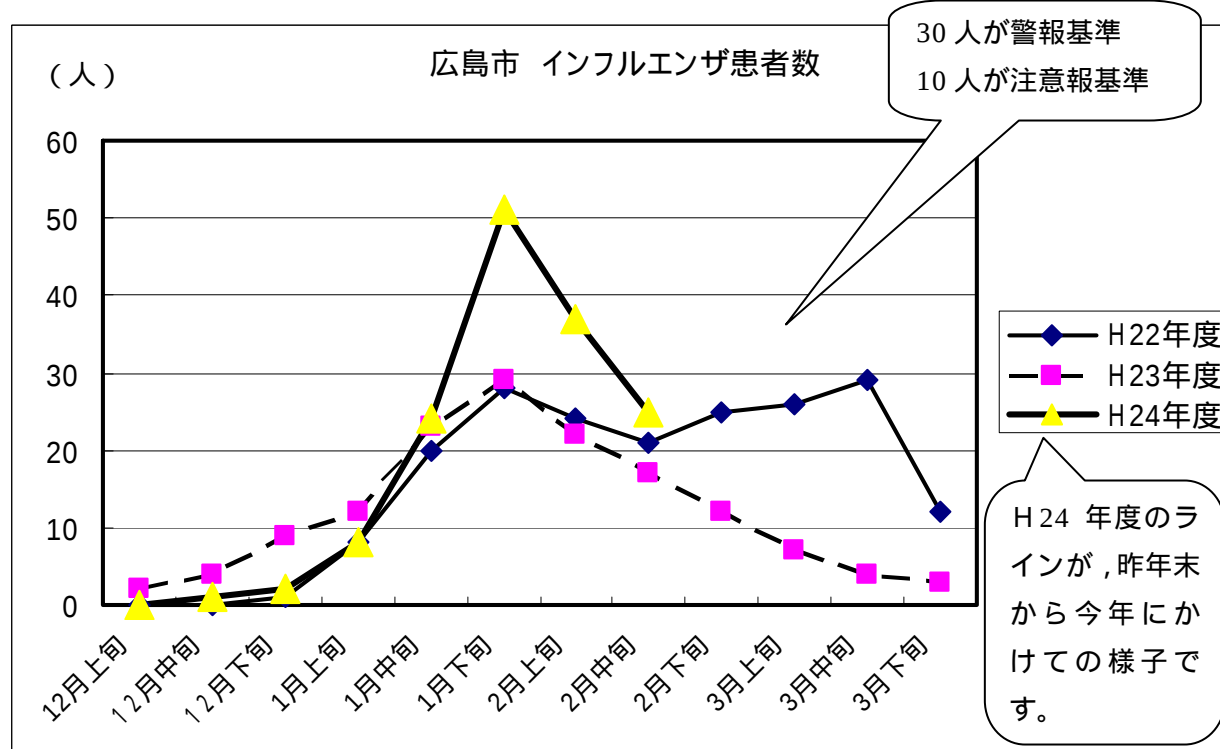


頭痛のなかでは、急に暑くなったことによるものが多かったです。疲れが取れず、「何となくしんどい」という児童もみられました。

引き続きインフルエンザには、 特に注意を！！！！

広島市感染症情報センター集計のデータでは、2月下旬にかけて、広島市内での患者数は減少してきてはいますが、それでも、H22・23年度のピーク時とあまり変わらない患者数です。また、広島市内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等での学級閉鎖報告数は、2月22日(金)にかけては、1日あたりの報告数が減ってきていましたが、週明けの25日(月)には急増しています。これで、広島市内の学級閉鎖報告数は、266学級になり、昨シーズンの数を越えました。患者にはA型とB型が混在するなかで、1月下旬には、A型がB型の約4倍だったのに対し、2月下旬にかけては、B型が増え、同数近くになりつつある状況も見られます。

湯来東小学校でも、インフルエンザにかかる児童が少しずつみられます。手洗い、うがいに加え、積極的なマスクの着用を呼びかけています。また、急な発熱で家庭連絡する場合もあります。緊急連絡先に変更がある場合は、必ず担任へ連絡をお願いします。インフルエンザの患者数(定点あたりの患者数)



マスクの着用を呼びかけていますので、ご家庭での準備、
学校への持参にご協力をお願いします。